



11月の半ばを迎え、少しずつ秋が深まってきました。小春日和の日よりも日により、朝晩の気温が低いので、寒そうに登校する児童も見られます。一方で、朝休みが始まると、半そで姿で、靴を履くのももどかしそうに運動場へ飛び出す元気な姿も見られます。2学期も残り1月半。先日の参観と大規模災害時引き渡し訓練にご協力いただきありがとうございました。行事の多い2学期ですが、一つ一つ学校行事を終えるごとに子どもたちがたくましく成長していくのを感じています。

ちくちくことば よりも ふわふわことば

11月の全校朝会では、「言葉のつかい方」をテーマに校長と生徒指導担当からそれぞれ話をしました。人との関係を断ち切るような悪い言葉(ちくちくことば)ではなく、人と人が繋がり合う言葉(ふわふわことば)を使おうという話です。

運動会のスローガンや運動会の応援歌の歌詞に、自分たちの思いや願いを込め、どんな言葉を選ぶのかをしっかりと考えてきた子どもたちです。それでも、ときおり、感情的になって、またあるいは、軽いノリやツッコミの感覚で「しね」などといったひどい言葉を使ってしまう人がいるものです(7/1付第7号)。表現や伝え方を工夫しながら繰り返し伝えていくことが大切です。10月の生活目標を「言葉の使い方に気を付けよう」とし、12月の人権週間に先駆け、11月5日の全校朝会で話題にしました。

全校朝会での話

私がまず紹介したのは、8月に放送された実話をもとにしたドラマのエピソード。主人公は中学生の頃に病気で父親を亡くした女性。彼女が繰り返し思い出すのが、父親が亡くなる数日前、口論の末「死んでしまえ」と口汚く罵ってしまった日の出来事です。父の死とは無関係だと分かっているにもかかわらず、大人になってもなお「あんなことを言ったから亡くなったのではないか」と後悔し続けます。言われて傷つくのは言われた人であるのはもちろんですが、もしもの場合、後悔と苦しみはその言葉を使った本人に取り返しのつかない刃となって向かってきます。

もう一つ紹介したのが、「行って来ます」「行ってらっしゃい」の言葉に込められた思いについて。そこにあるのは「行くけれども、必ず戻る」という決意と願いでした。昔の人は言葉には魂が宿ると信じていたので、自分の口から出る言葉が現実になって跳ね返ってくると考え、言葉をていねいに扱ってきました。

自分の言葉に責任を持ち、一時の感情に支配されず、ふと立ち止まって考えられるようになってほしい、そして、人との関係を断ち切るような言葉ではな

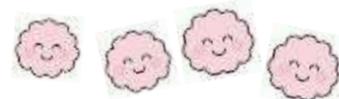
く人と人をつなぎ、人の心を温かくするような言葉を使ってほしいと締めくくりました。

生徒指導担当の教員は、自分をモデルにした架空のインタビュー、「〇〇先生はどんな人ですか」を題材に「悪い言葉ほど脳は記憶する」というお話をしてくれました。

スライドで表示される「〇〇先生はサッカーが好きです」「〇年の先生です」「青組です」などの多くのコメントの中に、「ばかです」というコメントが差し込まれています。子ども達からは「ええー！」という驚きと戸惑いの声が届りますが、多数のコメントの中で記憶に残りやすいのはやはり、短くインパクトのある否定的な「ばかです」のコメントなのでした。

人間は生き残るため失敗や嫌な体験を繰り返さないよう、強く記憶にとどめておこうとするもの。否定的な言葉はそれだけ心に突き刺さるのです。

嫌な言葉は、繰り返し人の心を傷つける。だから、ちくちくことばよりもふわふわことばを使おうと呼びかけました。



修学旅行間近 折り鶴づくりのとりくみ



11月20日(水)、21日(木)と6年生は広島・宮島方面へ修学旅行に出かけます。平和記念公園を訪れるのは2019年以来4年ぶりです。

6年生は、社会科の歴史学習と並行して平和学習を進めてきました。全校児童との関わりでは、11月からの1週目と2週目に折り鶴の取組を実施しました。1・2年、3・4・5年の教室へ赴き、絵本「折り鶴の旅」を読み聞かせたあと、折り鶴に込められた思いを伝え、一緒に鶴を折る活動です。



1年生の教室では2人に1人の6年生が付きっきりで折り方を



千羽鶴は6年生が作った詩とともに15~19日まで校長室前に展示中

教えていました。目線を合わせるようにしゃがみ込んで、一折一折やって見せながら、「そうそう、上手にできたね」「ここに指を置いて」などと声をかけています。6年生の中には、折り紙にあまり親しみがなく、鶴を一人で折れないという人もいたそうです。それでも、クラスで互いに教え合い、練習して折れるようになったそうです。1年生を前にしてがんばる6年生の姿を見ながら、そんなエピソードを話してくれた担任は目を潤ませていました。

全校児童で折った折り鶴は糸を通して1つの千羽鶴にまとめました。広島平和記念公園の原爆の子の像に捧げてきます。

5年 野外活動



かまどの火は他のチームよりも火がつくのがおくれていました。でも、他のチームが木を持って来てくれたりしてとてもうれしかったです。最後らへんは、チーム全員でかまどをやっていました。他の人よりは遅れたけど楽しかったです。チーム全員で協力しながら作ったカレーは最高においしかったです。

長胴太鼓は中心をたたくと響いた。竹太鼓は力をぬくといい音になった。桶胴太鼓はおもしろい音だった。

とても迫力があって、心臓がドキドキしました。



和太鼓体験

鷹ノ台小学校 @ikoma_shika_e2

2年道徳の授業研究

校内授業研究を行いました。公開授業は2年生の道徳「およげないりすさん」です。仲間外れや不公平のない楽しさについて考え、自分だったらどうするのか話し合いました。最後にクラス遊びを振り返り「みんながにこにこして楽しそうなら私も楽しい」との意見にみんな大きく頷いていました。